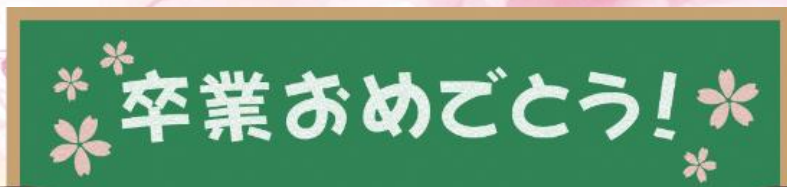


ひろば 大代

No.512

令和4年3月号

大田市の人口	(R4.3.1 現在)
大田市	33,133 人
内大代町	311 人
男	142 人
女	169 人



大田西中 井谷洸太さん
大田三中 竹島世麗奈さん
大田高校 田邊結奈さん



新しい場所への思い出

大田西中 (平)

井谷洸太 いたにこうた

僕は、野球をしたかったのですが、それ以外は、話したこともなく顔も知らない人達ばかりでもとても不安でした。同学年の同じ部活仲間を通してだんだんと友達も増え、学校生活が楽しくなりました。最初は、嫌なことばかりで、楽しくありませんでしたが、友達が出来たことで、一瞬にして嫌なことが、楽しいことになり、そこから今の中学校卒業までは、とても短く、あっという間でした。

2年生になると、部活や学校を支える大事な学年になり、僕は、野球部のキャプテンや、生徒会執行部になりました。チームや、小学校とは違い100名以上の生徒の中心となってみんなを引っばっていくということはとても大変でした。しかし、その一つ一つが終わると、とても達成感があり、嬉しかったです。

体育祭や文化祭では、僕達3年生が中心となり、どちらも良い行事となりました。3年生の中盤から後半にかけては、受験勉強が大変だったし、新型コロナウイルス感染者が島根県でも大勢出ており、とても不安でしたが、なんとか乗り切ることができました。

高校生になると、みんなの中心となり引っばっていく経験はなかなかないと思います。だから中学校で経験したことを高校や、その先の未来の自分に活かしていければ良いなと思いました。毎日送迎してくれたお母さんや、また、見守ってくれた地域のみなさま、ありがとうございます。

卒業

大田三中 (四日市)

竹島世麗奈 たけしませれな



3月9日に大田市立第三中学校を卒業することができました。日頃から地域の皆さんが支えてくださったおかげで、中学校3年間を楽しく過ごせました。ありがとうございました。

思いかえしてみると、この3年間本
当にいろんなことがありました。新型
コロナウイルスの影響で様々なイベ
ントが中止や延期になったり、三中統合
の案が急に出て新入生が0になっ
り……。他にもつらいこと苦しいこ
とが何度もありました。でもその度に、
周りの友達や先生に助けられて乗りこ
えてきました。本当に感謝したいです。
また、乗り越えた自分も褒めたいと思
います(笑)。もちろん、その苦しいこ
とやつらいことがあった分、とても楽
しく幸せなこともたくさんありました。
中学校3年間は色鮮やかな思い出で
きつとこれから先忘れることはないで
しょう……。

高校では、三中から行く人がいない
ので、友達はできるのか、また、頭の
良い人の集まりのクラスに入るの
頭の悪い私は勉強についていけない
のか、部活と両立できるのか、とたくさんの
不安がありますが、今まで乗りこえ
られなかった壁はなかったはずなので！
自分を信じて突き進んでいきます！



卒業

大田高校(椿)

田邊結奈 たなべゆな

小学校・中学校を卒業して、今年、
高校を卒業しました。

小学校入学の時は、友達もいなくて
1人でしたが、今は、親友や友達が沢
山でき、12年があつという間に早く感
じました。

そして、これからは、次のステップ
に向けて頑張ろうと思います。



13年間、大変お世話になりました

高山公民館が閉館し、

新たな社会教育推進

センターへ

高山公民館長 田中純一

2月下旬まで続いた寒さもようやく
和らぎ、次第に春の陽気が感じられる
ようになりました。

すでにご存じの方も多いと思います
が、この度のまちづくり体制の見直し

に伴い、今年3月末をもちまして、市
内7公民館がその役割を終えることと
なり、高山公民館も閉館することにな
りました。今後は、「社会教育推進セン
ター」と名称を変え、主に学校と地域
の皆さんが協働して行う様々な活動
をお手伝いすることになり、一方いわ
ゆる住民の皆さんと共に活動するまち
づくり事業については各まちづくりセン
ターに引き継ぐことになりました。た
だし、令和4、5年度の2か年は、現
在の事務所に職員が残ることになりま
すので、どうぞ、これまで通りご来館
ください。

さて、振り返りますと、平成21年4
月に水上町旧診療所跡に開設以来13
年間、高山4町の地域や小中学校の皆
さんには、様々なまちづくりの場面で、
共に活動し、数々の叱咤激励をいた
だきました。

特に大代町では、まちづくりセンタ
ーと協力して行った「ふるさとの宝を
発見する地域めぐり」シリーズ中、何
といつても「高山自然観察会」。つら
かった高山登山と心癒されるギフチョウ
やイズモコバイモとの出会いの素晴ら

しさが思い起こされます。さらに「山菜を食す」で天ぷらにした柿の葉や葛のおいしさは忘れ難いものとなりました。

あれこれと言葉はつくせませんが、歴史ある素晴らしい町、大代町の皆さん、そして大代まちづくりセンターの佐藤センター長、後藤さん、山本さんには、これまで在館した先輩館長や主事の分も含め、この機会に心よりお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。ございました。ますますお元気に活躍されますことを心よりお祈りし、閉館のご挨拶とさせていただきます。

生活習慣とマスク



東京石見高山会 鳥笥尾正
とや おただし

日米の新型コロナウイルス感染者数を比較しますと、米国7568万人（死亡89万人）に対して、日本は302万人（死亡1万9千人）。比率にして米国を100とした場合、日本の感染比率は3.9%、

死亡比率は2.1%と格段に少ないです。米国の感染者は、同国人口の4人に1人ですが、日本は42人に1人です。（令和4年1月31日現在）人口と国土の広さの違いもさることながら、なぜ、日本と米国でこのように大きな違いがあるのでしょうか。

一般的に日本人のマスク着用率は100%に近く、生活習慣の違いにあるようです。その慣習の主な違いは、何処にあるのでしょうか？

考えられることは

①食料生産の違いが、文化の違いを生んだともいえます。



日本 主食を米に依存した。

米国 主食は、小麦と牛羊の牧畜に依存した。

②社会的圧力に反発

日本 政府によるマスク推奨を受入れる。そこには、マスクをしな

ければならないという強い社会的圧力があり、マスクをしな

客から白い眼で見られる。大勢の死者が出ている現在で

さえ、マスクをしない。着用を求める規則は個人の自由を侵害している。人々は抗議する。一部地域では、公共の場でマスクをすると、日本と反対に、周囲から白い眼で見られる。

③清潔感

日本 乗務員は白い手袋と制服を身につけ、車も完璧なまでに清潔。

米国 おおようにして、乗務員の服装は私服。

④学生の弁当

日本 日本は、栄養バランスを考えた弁当を作る。

米国 米国の定番はサンドイッチ。

⑤教室掃除

日本 子供を対象にみても、日本の学校では、児童が毎日掃除をする。

米国 児童は掃除を行わず、清掃員が掃除をする。

この様に個人主義と厳格な社会規範のバランスは、世界中で異なります。日本、中国、韓国、東南アジアは、社

会規範が比較的厳格ですが、米国や欧州の大半は社会規範が寛容です。

社会規範が厳格な国で育った人は、偶然に出会った人とも人間関係が結ばれる傾向にあります。規範が寛容な国では、自由に友情をはぐくんんだり、別れたりします。

また、1万年前の農業の始まりが、牧畜か農耕の違いもあります。牧畜民は、良い牧草地を探すために、個々の判断で移動しており、お互いに協力をしなくてすみます。一方、農耕民族は、恒久的に田畑のそばにとどまります。

同じ農耕民でも、日本のような水田稲作と、灌がい（農地に外部から人工的に水を供給すること）が必要のない欧米のような小麦栽培では、また大きく異なります。稲作農家は、重労働をお互いに隣人と協力しなければなりません。小麦栽培農家は、稲作ほどには協調はもとめられません。何千年もの時を経て、厳しい社会規範をもつ日本、中国、韓国などの稲作社会と、個人の自由を基盤とする欧米など、小麦を栽培する社会との間に、今日のような違いが生じてきているとおもいます。

「稲作への依存」「頻繁な自然災害」

「高い人口密度」「限られた資源」等々4つの要因で、日本は強い協調を求められる社会になりました。私たちのほとんどは、牧羊や小麦栽培の経験が無く、現代の日本人の多くは稲作を主としました。

結果として、日本人がマスクを受け入れたのに対して、米国はマスクに抵抗しました。その結果、両国の感染者や死者の数に表れたとも考えられます。マスクの着用から、生活慣習の違いをみましたが、異なる歴史を培った文化遺産があつて、共存しています。各自物事の判断は、その事象ごとに行なうべきだと考えます。

作文コンクール

中学生の部

難波利三賞受賞

小笠原恵真さん

「ふるさと そして 未来

—— 夢あふれる街「大田」へ ——
大田市、大田市教育委員会、大田市

文化協会主催の作文コンクール2021で、植松自治会の小笠原恵真さん（大田一中）が最優秀賞の難波利三賞を受賞されました。おめでとうございます。

「僕の町の誇れるもの」

大田一中 小笠原恵真

僕の町では、「ゆずこししょう」というものを作っています。唐辛子、ゆず、天然塩、地元100%の材料を使った「ゆずこししょう」は、ゆずのさわやかな風味と辛さが抜群の大田市の名産の一つです。

僕の住んでいる大代町では、「大代ゆずっこくらぶ」の方々が中心となり、この「ゆずこししょう」の生産をしています。父がこの活動を手伝っていたこともあり、僕も小さなときからこの活動に参加していました。

初めて、この活動に参加したのは、僕が幼稚園のときです。畑に唐辛子を植える作業を手伝い、地元の友だちや地域のひとと、楽しく活動することができました。畑を耕したり、びんにゆず

こししょうをつめたり、いろいろな作業が体験できるので、毎回参加するのが楽しみでした。また、町の活動を知ることでもできるので、もっと参加したいと思うようにもなりました。

小学生になると、畑を耕したり、苗を植えたりする手伝いだけでなく、文化祭での販売の手伝いもするようになりました。

僕がゆずこししょう作りをしていて、一番、良かったと思ったことは、文化祭の時です。僕は、文化祭で、一生懸命作った「ゆずこししょう」を友だちと一緒に売る、お手伝いをしていました。文化祭には、地元以外にも、たくさんの人が来ていました。

「ゆずこししょう、いかがですかー」と、大きな声で宣伝をして回ると、来てくださった、たくさんの方が、「ゆずこししょう」を買ってくださいました。

また、買ってくださった方からは、「がんばって手伝いをしてえらいね」と声をかけてもらい、僕は、みんなの役に立てたことが、とてもうれしくて、充実感と満足感が胸がいっぱいになりました。

販売のお手伝いが、ひと段落つき、僕は友だちと、お昼ご飯に、町のおばさんたちが作ってくれたうどんを食べていました。すると、うどんとともに、「ゆずこししょう」をつけて、食べていたお客さんが笑顔で、「おいしいね」と、会話をしているのが、聞こえてきました。この姿を見て、ぼくも笑顔になりました。町の人たちが、がんばって作ったものをみんなで食べて笑顔になり、人と人がつながっていく。とても、いいものだなと実感した瞬間でした。

中学生になり、僕は、総合的な学習の時間に地域のことについて学びました。社会福祉協議会の方に来ていただき、高齢化社会の現状を教えてください、自分の町について、考えるようになり、自分の町について、考えるようになり、子どもが少なくなっている、まさに、少子高齢化が進む町です。そして、町の行事の運営や日々の生活にも困りごとが多くなってきました。しかし、僕の町の人たちは、とても元気です。みんなが顔見知り、仲が良く、

お互いが声をかけ合い、助け合いながら、生活しています。また、高齢者の方も、率先して行事やイベントに参加してくださっています。

僕は「ゆずこししょう」作りに関わって、町の人のことや人と人とのつながりの大切さをたくさん知ることができました。最初、手伝いを始めたころは、ただ楽しい活動くらいにしか思っていりませんでした。しかし、今では、大田の魅力を発信し、町に元気を与える、誇れる活動だと思っています。

僕が「ゆずこししょう」作りを体験して、分かったことは、自分たちの住む町に興味を持つことが大切だということです。何事も、まずやってみる、参加してみることで、だんだん町の状況や人との関わりが分かってきます。そして、活動すること、人と関わることの楽しさも気づけていきます。僕は、「ゆずこししょう」作りで、たくさんの人と関わって、たくさんの人を知ることができて、今の生活が以前よりも、よりよくなっている気がしています。

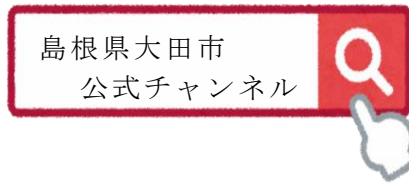
僕のふるさと「大田市」は、たくさんの方の「笑顔」と「温かさ」があふれ

る、すてきなところですよ。そして、僕の自慢の町です。

地域のために、みんなのために、僕は、これからも、さまざまな活動に参加し、さまざまな人に出会い、「大田市」の魅力を発信していきたいです。

この「大田市」がいつまでも、「笑顔」と「元気」と「温かさ」があふれる、すてきな町でいられるために。

※受賞式での朗読の様子がYouTubeで公開されています。



「高山会よりお知らせ」

4月10日（日）に大江高山自然観察登山を行います。三瓶自然館サヒメルの学芸員、井上さんを講師に、イズモコバイモやギフチョウをはじめとする貴重な動植物を観察しながらの登山です。3年ぶりの開催となるこの自然観

察登山。みなさんぜひ、ご参加ください。（※雨天の場合、中止となります。）



「俳句」

あすなる句会

下市 今田文字

芹の香をつゆに浮かせて一人膳
土筆道八十路の歩みゆるると

川上 岩田律枝

福寿草咲いてほっこり狭庭かな
恋猫の鳴いて山家の日暮れかな

上市 横田美恵子

たんぽぽの綿毛の飛んで風強し
春めいて蛙の声がこだまする



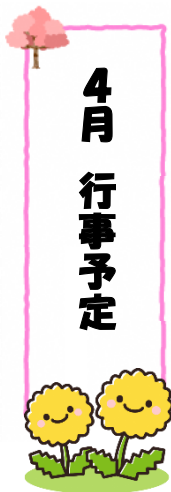
お世話になりました。

大代まちセン 山本順子

この度、3月末をもちまして、大代まちづくりセンターを退職いたします。この1年9か月、ふるさと大代で働くことができ、とても幸せな時間を過ごすことができました。

在職中は皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

4月 行事予定



▼10日（日）大江高山自然観察登山

8時半 山田集会所前集合

▼17日（日）福祉弁当

▼23日（土）連合自治会



▼7日・14日・21日・28日（木）

えびすの会 9時半～11時半

（4月から午前開催となります）

※行事は延期・中止になる場合があります。